

今日の説教のポイント<使徒言行録1章1～26節>

イエス様は復活されて40日後に昇天され、その10日後に約束された聖霊が弟子たちに降りました。この10日間の持つ意味と、この間の弟子たち（聖霊なし?）について考えてみましょう。

①なぜイエス様は去られたのか？ その前になぜ復活されたのか？

聖霊降臨について考えて行くと、この二つの問いに戻っていきます。イエス様が復活して弟子たちの前に現れられたのは、復活するという事実を弟子たちに見せておきたかったから。だのになぜ去られたのかは、ヨハネ福音書16:7でイエス様が言われているように、「聖霊が弟子たちに与えられるためであり、それが弟子たちのためになるから」と言えるでしょう。神様には神様のなさり方があり、それが私たちにどういう意味を持っているかを考えることが大事なのです。

②イエス様が去られ、聖霊も降りていない10日間を持つ意味は？

では、聖霊降臨までの10日間を持つ意味は何なのでしょう？ 言い換えると、イエス様は去られ、聖霊はまだ降りていない10日間の弟子たちとは何だったのでしょうか？ 彼らの姿に注目です。

弟子たちはこれまでと同様、分からないことだらけです(1:6～11)。同時に、イエス様が命じられた通り、集まって祈りながら聖霊が降るのを待ちます(12～14)。そして、置かれた状況の中で為すべきことを冷静に考えて実行してもいます(15～26)。ここから見えて来ることは、弟子たち自身は前と変わっていない、しかし確かに変わりもした、復活されたイエス様の言われたことを信じて生きて行こうとする心構えが強まった、そう言えるのではないのでしょうか？！ 弟子たちにとってイエス様無し、聖霊無しの「空白の10日間」は、イエス様の「荒野でのサタンの誘惑」(ルカ4:1～13)の期間に当たるといえるのではないのでしょうか？ そして、弟子たちはよくその期間を乗り越えたのです！ 主イエスがおられなくても、聖霊がまだ降りていなくても、弟子たちはこの期間をこのように過ごせた。この点に注目したいと思います。それは、どんな状況に置かれても、主を信じて待つ。そうしながら為すべきことを考え、取り組んで行く。それでいい！ このことを実際に経験することができた10日間であったのではないのでしょうか！ そして与えられた聖霊降臨の意味は、来週のペンテコステ礼拝で考えましょう。